



鈴鹿市立箕田小学校

みだっ子

＜学校教育目標＞

自他を尊重し、ともに学び、
高め合う子の育成

令和6年6月28日（金）NO. 7



雨あがり、草木の緑も一層深まったように感じられますが、
学校では、春に苗を植えた野菜や種を蒔いた花などが、どん
ん生長しています。私も遠い昔(?)アサガオやヒマワリの
種を蒔いて、水やりして、観察して、絵を描いたことなど、今
でもよく覚えています。小学生のときには、自然に親しみ、
自然の現象について、疑問をもったり、調べたり、追究した
りできるといいですね。自然の事物や現象に興味関心をもっ
て、生き物を愛護する態度や、観察・実験などを行い、問題を
解決する力を養っていきたいと考えます。



ピーマンや
ミニトマトが
できました！



学年の畑のさつまいもやヘチマも順調に
育っています！



さつまいも



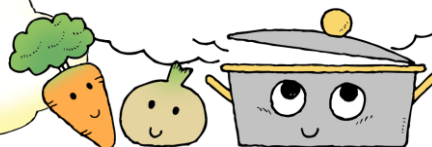
ヘチマ

食べるのが楽し
みですね！





6月は「食育月間」



給食について

今年の食育のテーマは、「給食で世界旅行」でした。1か月を通していろいろな国（ドイツ、韓国、アメリカ、フランス、中国、イタリア、インド、タイ、ブラジル、日本の10か国）の料理が登場し、給食で世界の料理を味わい、いろいろな国の食文化を学ぶことができました。

それに合わせて、給食委員会の人たちが、「完食したら、給食で登場した国の国旗のシールをはろう」という企画を考え、各クラスで給食を残さず食べて、シールを集めていました。

給食委員会



食育の授業 1年「給食ができるまで」

今年度も北川晶子栄養教諭（長太小在籍）に来ていただき、児童が食生活に対して関心や理解を深めるため、担任とともにそれぞれの学年に応じた内容で、年2回ほど、授業を行います。1年生は、「給食ができるまで」という内容で、調理員さんが給食を作っている動画を見せていただきました。毎日230人分の給食をだいたい2人で作ってもらっていますが、動画をみて、子どもたちは、「なべ、おっきい」「皮むくの はやい」「あつくないのかな」「たいへんそう」などつつぶやきながら、給食が出来上がるまでの調理員さん方の工夫を知るとともに、苦労などを感じながら「きれいなものでも、ちょっとがんばって食べよう」などと言い、感謝の気持ちをもつことができたようです。おいしくいただきましょうね！



食育の授業 5年「地産地消」

5年生は、「地域の食べ物を知ろう！地産地消」という内容で食育の授業を行いました。毎月、「みえ地物一番給食の日」が設けられていますが、その日は三重県や鈴鹿市でとれた食べ物をたくさん使って給食を作ってもらっています。お米やうどん、玉ねぎ、ほうれん草、のりなどは鈴鹿市でとれたものです。子どもたちは、新鮮さや輸送コスト、環境面などから地元の食材を使うよさについて考えを深めることができました。